

1年次

2年次

3年次

4年次

4年間の流れ

基礎をしっかり身につける

- 政策学を学ぶうえで必要となる基礎知識を修得する科目を受講。
- 「基礎演習」で、大学での学びの基本「読み・書き、語り、調べ、考える」を身につける。
- 「政策学入門（経済学・政治学・法学）」や「政策学を学ぶ」などで、政策学の基本を学ぶ。

自分にぴったりのコースを選択

- 話し合いの構造やプロセスを学ぶ「コミュニケーション・ワークショップ演習」で、参加・協働型社会に必要な話し合い能力の育成を図る。
- 後期からは「政策構想・環境創造・地域公共人材」の3つまたは学部共通コースのなかから自分に合うコースを選び、専門的に学ぶ。

専門性を身につけ社会を見る目をじっくり鍛える

- コースごとに専門性を高めるプログラムを展開。
- フィールドワークやインターンシップなど、地域や企業、NPOの現場に入って実践的に学ぶ。
- 2年次後期から一貫したゼミに所属し、卒業研究を制作するための準備がスタート。

進路を見据えた学び、活動、そして4年間の総括

- 4年間の学びの集大成として、ゼミ活動やRyu-SEI GAPなどでの研究成果をまとめた卒業研究に取り組む。
- 就職活動も本格的に始まり、学部で経験してきたことを企業に伝え自己アピールするうちに、自身の活動や成長を振り返るきっかけに。

専攻科目



グローバル・シチズンシップ・エデュケーション科目

演習科目

